

# < 金浜地区海岸災害復旧工事 事業概要 >

## 金浜地区海岸の概要

・宮古市金浜海岸は、本県三陸沿岸のほぼ中央部、宮古湾奥部に位置している。  
 当海岸は、昭和35年のチリ地震津波災害を機にチリ地震津波対策事業で防潮堤T.P.+6.0mが建設された。その後、昭和43年の十勝沖地震津波により越波したため、既往最大といわれた明治三陸津波(明治29年)対応の高さであるT.P.+8.5mに変更し、昭和57年から海岸高潮対策事業で整備を進め、平成11年に現在の防潮堤施設が完成した。

## 被災状況

・H23.3.11 東日本大震災に伴う大津波は、既設防潮堤(T.P.+8.5m)を越え、金浜地区では死者、行方不明者27名、建物被害242棟など、痛ましい甚大な被害を受けた。また、JR山田線の軌道流失や海岸防潮堤の崩壊など、地域の基盤となる施設にも甚大な被害をもたらした。  
 ・津波痕跡で最大痕跡高T.P.+13.0m(岩手県調査)、地震による地盤沈下は約50cmであったことが確認された。



## 背後地の被災状況



## 防潮堤の破堤状況



## 防潮堤高上げ計画

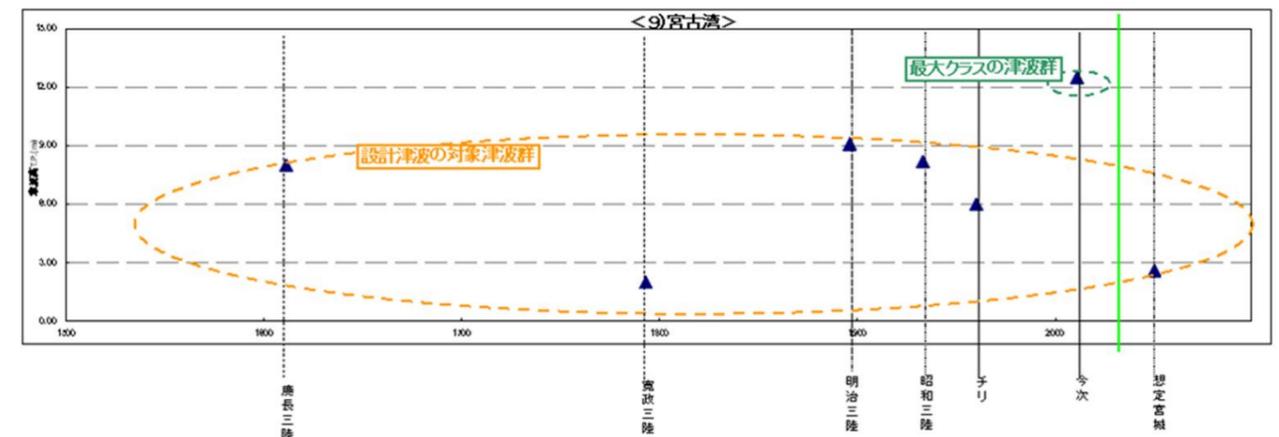
H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。  
 過去に発生した津波の中から設計対象波を選定。  
 せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。  
 余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。

「岩手県津波技術専門委員会」での審議を経て、宮古湾(金浜地区海岸を含む)では新計画堤防高をT.P.+10.4mと設定した。

## 計画高の設定

単位:m(T.P.)

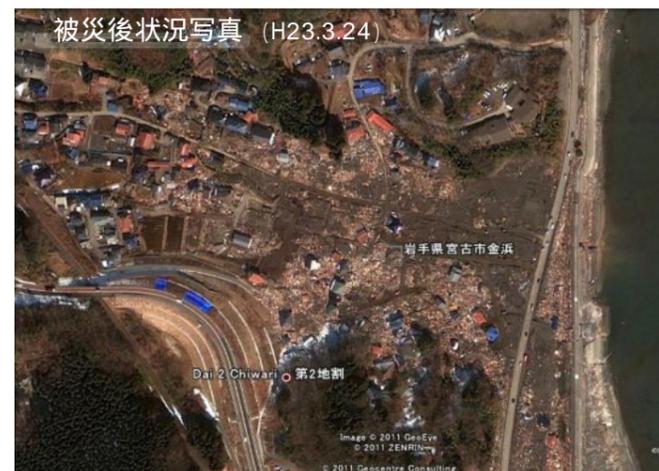
地域海岸名	設計津波		堤防高設定値	被災前現況堤防高
	対象地震	設計津波の水位		
宮古湾	明治三陸地震	9.4	10.4	8.5



被災前状況写真 (H21.7.20)



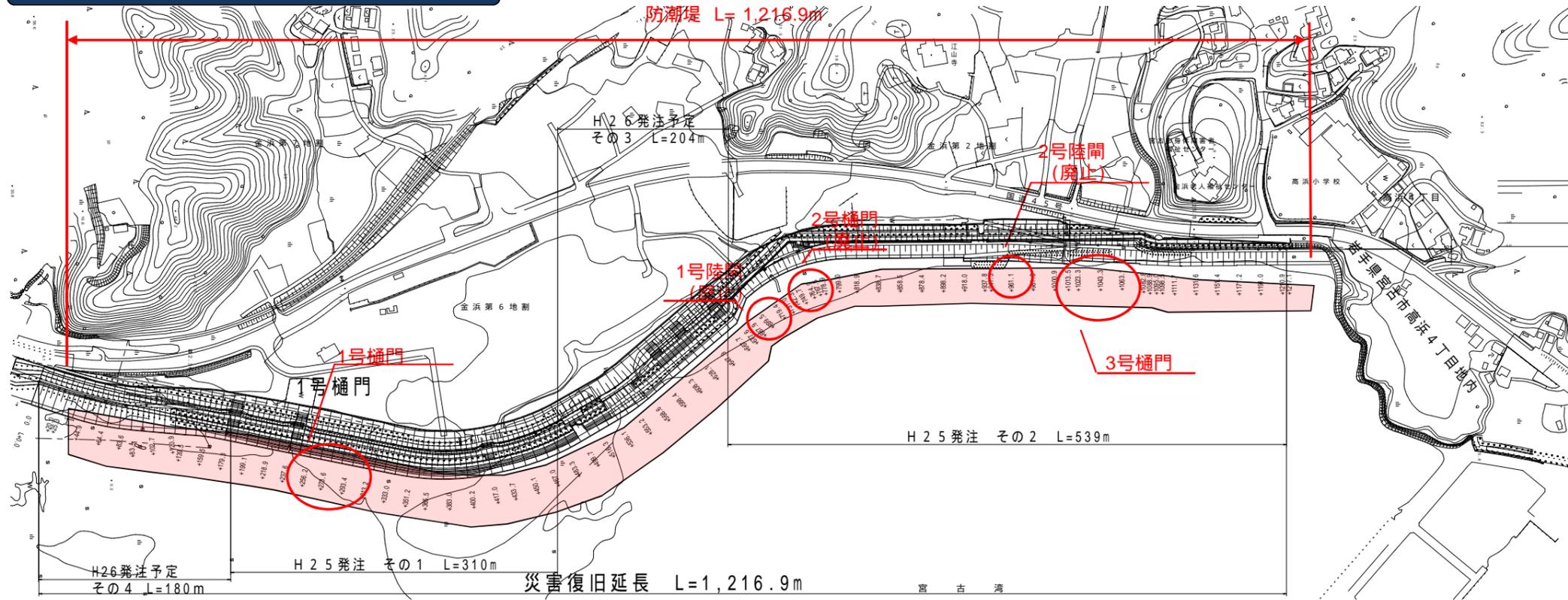
被災後状況写真 (H23.3.24)



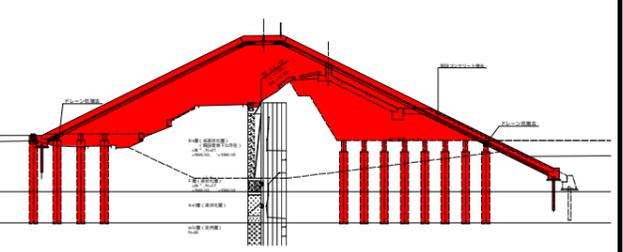
# < 金浜地区海岸災害復旧工事 事業概要 >

## 復旧概要 (水管理・国土保全局所管)

平面図



標準断面図



## 災害査定

工事名 : 金浜地区海岸災害復旧(23災585号)工事  
 決定額(工事費) : 2,338,308 千円  
 工事概要 : 復旧延長 L=1,216.9 m、防潮堤 L= 1,216.9m、樋門 2基

